

開業に向けた動き

◆中央新幹線の整備計画の決定

- 平成23年5月26日 全国新幹線鉄道整備法に基づき国土交通大臣が決定
- 主要な経過地は、甲府市附近、赤石山脈(南アルプス)中南部、名古屋市附近、**奈良市附近**

◆全線開業時期の最大8年間前倒し等

- 財政投融资を活用し、全線開業時期の最大8年間前倒し
- 「骨太の方針2019」では、昨年度に引き続き、名古屋・大阪間の駅とルートの公表に向けた連携・協力に取り組む方針を明記

◆JR東海の担当部長の配置

- JR東海が名古屋以西の準備担当部長を専任で配置(令和元年7月)

取組方針

◆中間駅の位置及び三重・奈良・大阪ルートの早期確定

- 名古屋・大阪間の中間駅はその便益が紀伊半島全体に広がるような交通結節性の高い位置とし、駅周辺でのまちづくりの具体的な検討や事業促進に向けた環境整備が着実に図られるよう、**駅位置及びルートの早期確定**が必要
- ルートはリダンダンシーの観点から、**整備計画通り、東海道新幹線とできる限り離れた「奈良市附近」を経過地とした三重・奈良・大阪ルート**とすることが重要

◆環境影響評価に係る手続きの早急な着手

中間駅の位置及び三重・奈良・大阪ルートを早期に確定するため、**速やかに名古屋・大阪間の環境影響評価手続きに着手**することが重要

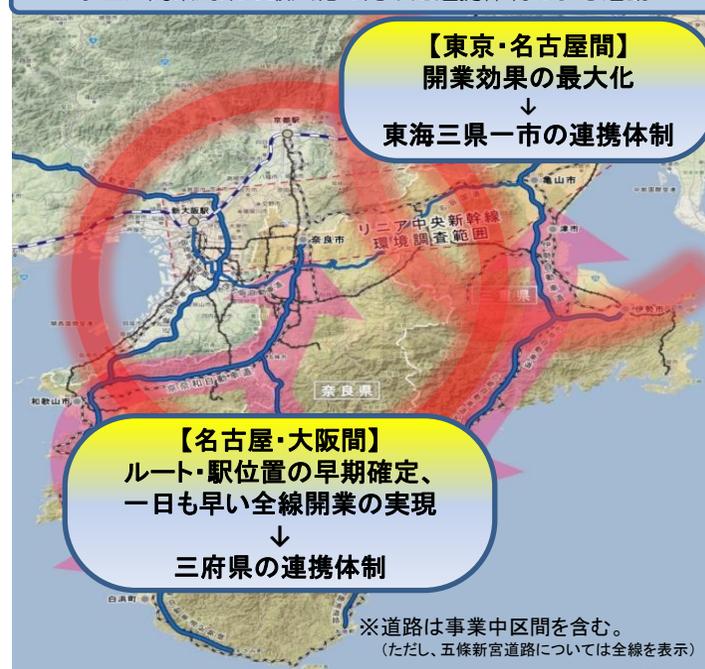
◆東京・大阪間の一日も早い全線開業

リニア中央新幹線の効果が遺憾なく発揮されるためには、名古屋・大阪間の早期事業化による一日も早い全線開業が必要

「三重・奈良・大阪ルート」及び駅位置の早期確定、一日も早い全線開業の実現



リニア開業効果の最大化に向けた連携体制による活動



三重県・奈良県連携の取組(令和元年度)

今回で3回目となる三重・奈良・大阪リニア中央新幹線建設促進大会を開催(令和元年12月25日)

→決議文を採択

<構成団体>

- リニア中央新幹線建設促進三重県期成同盟会
- リニア中央新幹線建設促進奈良県期成同盟会
- リニア中央新幹線建設促進三重県・奈良県経済団体連合協議会
- リニア中央新幹線早期全線開業実現協議会

R1.12.25 促進大会でのJR東海金子社長の挨拶

「各府県の皆様と今後の情報交換をさらに密にして、駅の位置であるとか、あるいはルートに関する検討を進めていく必要がある。」
⇒ JR東海と各府県の担当者間で、実務レベルの意見交換を継続中



※道路は事業中区間を含む。(ただし、五條新宮道路については全線を表示)